

八木書店

日本近代文学会

2023年春 会員限定 割引販売カタログ



【申込期限】2023年7月末日 【販売価格】全品1割引・送料サービス
【お支払い方法】郵便振替用紙、銀行振込
【ご注文方法】 Fax : 03-3291-6300 (最終頁の注文書をご利用ください)
Tel : 03-3291-2961 / E-mail : pub@books-yagi.co.jp

東海の小島の磯の白砂に
われ泣きぬれて
啄木 我を愛する歌
——発想と表現——
八木書店

近代日本研究に必見の雑誌32万頁、豪華原稿2万カットを、6万6千件の
詳細検索データで自在に検索！
ジャパンナレッジLib収録コンテンツとの連携でさらに便利に！
Web版 JKBooks
日本近代文学館
http://japanknowledge.com/library/
内容見本
太陽 THE TAIYO 徳大寺発行・全521冊・17万5000頁・
明治29年(1896)～昭和2年(1927)
文芸倶楽部 明治編 文芸倶楽部発行・全284冊・
15万8070頁・
明治28年(1895)～大正5年(1916)
校友会雑誌 第一高等学校校友会発行・全263冊・2万6064頁・
昭和23年(1948)～昭和49年(1974)
●用いるの小冊子種別を2冊以上組合し
原稿本を撮影、薄丁・乱丁のない完全な定本
を提供
●原本の見出しから採った検索データにより、
同時に索引のページを索引
●4タイトルの一括検索や、記事単位でのプ
リント等、充実の検索機能
滝田博隆田蔵
近代作家原稿集
全47巻・(原稿)213作品・(打出原稿)260作品
We have just assembled images of all 320,000 pages from
the Meiji, Taisho and Showa Eds of "Taiyo", "Bungei Kurabu",
"Yokawa Zasshi" and "Waka kaku jisho" into Wikis.
編集・発行：日本近代文学館 / 製作・発売：八木書店
配信：運営：NetAdvance

★上掲画像をクリック（タップ）すると Web サイトの詳細情報をご覧いただけます

※ 1 割引の特別価格は上記の連絡先へご注文いただいた場合のみ適用

(八木書店古書部店頭、ネット販売、その他書店様等へのご注文の場合は 1 割引となりません)

【八木書店 出版物・古書目録】 <https://catalogue.books-yagi.co.jp/>

『一握の砂』の鑑賞・評釈を新たな視座で再検討！

歌集の主題を形成する「我を愛する歌」151首を評釈し、
1首ごとの発想と表現から、文学テキストとしての構造を解明

啄木 我を愛する歌



— 発想と表現 —



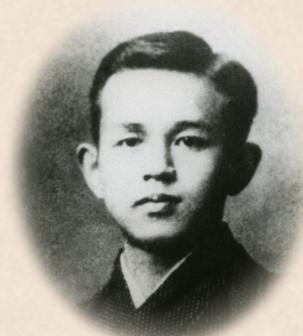
一握の砂を示しし人を忘れ

なみだのごず
頬につたふ

おお 太 田 登

(天理大学名誉教授)

2022年12月刊 ● 好評発売中！
定価 4,950 円 (本体 4,500 円+税 10%)
A5 判・上製本・カバー装・392 頁
ISBN978-4-8406-9772-9 C1095 ¥4500E



蟹われ泣きぬて
東海の
小島の
磯の
白砂に

啄木という抒情主体の表現世界を明らかに 太田 登

短歌という作品をどのように解釈すべきか、ながくこの課題と向きあってきた結果が本書となった。こと啄木短歌の注釈や鑑賞に関しては、岩城之徳や今井泰子らの先学の恩恵によるところが大きい。とりわけ『一握の砂』は、啄木自身の伝記的事実を反映させた解釈にかたよりがちであった。そうした『一握の砂』という文学テキストのなかの「われ」と作者である啄木とを一元化する単一的な視点ではなく、うたわずにはいられない言葉と心をいかに発想し、いかに表現しえたかという多層的な視点によって、啄木という抒情主体の表現世界を明らかにすることをめざした。

本書は、従来からの『一握の砂』の鑑賞や評釈を再検討し、『一握の砂』という歌集の主題を形成する第1章「我を愛する歌」の151首を評釈するものである。それは漂泊と挫折の人生が主人公である都市生活者の視点から物語化された『一握の砂』という文学テキストとしての構造を解明するものであり、近代短歌ひいては現代短歌における発想と表現の意味を再検証することでもある。

八木書店
YAGI BOOK STORE LTD.

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-8 Tel:03-3291-2961 / Fax:03-3291-6300
pub@books-yagi.co.jp http://www.books-yagi.co.jp



啄木研究 50 年の集大成となる新たな評釈！

序論として「短歌史を創る『一握の砂』の意義」を掲げ、
巻末に索引 3 種（啄木短歌索引／詩歌作家別索引／人名事項等索引）を収録

【本文見本】
(85%縮小)

99 人並の／100 誰が見ても／101 はたらけど

【初出】「東京朝日新聞」(明治43年8月4日)「手帳の中より」五首のうち。「はたらけど働けど猶我が生活楽にならざり」

【歌意】働いても働いても、いっこうに私の生活は楽にならない。いったいどうしたことであろうかと、自分の手をつくづく見つめるのである。

●101 はたらけど
はたらけど猶わが生活楽にならざり
ちつと手を見る

「ている。」「木股知史」という、(男)に不遇の自己像を重ねるとい見方ではなく、むしろ「こういう男にだけはなりたくない」「私の人間を観る目は確かである」という解釈に立ちたい。

1 東海の

●1 東海のとうかいのこじまの磯のいその白砂しろすなに
われ泣なきぬれて
蟹かにとたはむる

【歌意】東海に浮かぶ小さな島の、その浜辺の白
いる孤独な漂泊者がここにいる。

【制作】明治四十一年六月二十四日(歌稿ノート)

【初出】「明星」(明治41年7月)「石破集」百十四頁

【重出】「創作」(明治43年7月)「自選歌号」二十

【主題】「われ泣きぬれて」

【評釈】「一握の砂」という文学テクニクの書き出しは主人公が「泣きぬれて」登場する場面からはじまる。歌集の巻頭に自讃歌として据えられたこの歌の主題は、二行目「われ泣きぬれて」という感傷性にある。この感傷性こそがいわば通奏低音のように「一握の砂」という歌集の全体に響いている。

北海道より上京してまもない明治四十一年(一九〇八)六月二十五日の日記に、「頭がすっかり歌になつてゐる。何を聞いても何を聞いても皆歌だ。この日夜の二時までに百四十一首作つた。父母のことを歌ふの歌約四十首、泣きながら」とあり、「われ泣きぬれて」は、「小説への志向に烈しく燃えながら、啄木の精神的雰囲気は短歌制作を刺激するような環境のなかに彩られていた」(国崎望久太郎「増訂啄木論序説」昭和41年1月、法律文化社)時代の啄木



申込書	太田登著／八木書店刊		2022年12月初旬刊行		取扱店(番線印)
	啄木 我を愛する歌 — 発想と表現 —		〔 〕冊		
	ISBN978-4-8406-9772-9 C1095		定価 4,950 円 (本体 4,500 円+税 10%)		
	お名前 (ふりがな)		TEL		
ご住所 〒		FAX			
		E-MAIL			

屹立する近代女性表現者と稀代のプロデューサー、
その知られざる絆の秘奥に迫る！
新たな切り口で臨む与謝野研究の道標！

よ さ の ひ ろ し あ き こ ろ ん こ う

与謝野寛晶子論考

—寛の才気・晶子の天分—

おお た のほる
太田 登

(天理大学名誉教授)

2013年5月刊行【好評発売中】 定価 4,180円 (本体 3,800円+税 10%)
A5判・上製本・カバー装・280頁 ISBN978-4-8406-9688-3 C1095 ¥3800E

- ◆従来の晶子研究に見落とされがちであった寛(鉄幹)の具体的な役割を再検証。「鉄幹が晶子の天才を得たことは美神の恩寵であろう、そして鉄幹がいなければ晶子も存在しないだろう」(保田与重郎)という言葉に象徴される両者の関係を解き明かす。
- ◆晶子における平和思想、海外体験に裏付けられた鋭敏な国際性など、詩歌の天才という見方だけではとらえきれない女性表現者としての軌跡を丹念に考察。

相關的に複眼的に 作家・与謝野晶子倶楽部会長 なん ば とし ぞう 難波利三

与謝野寛(鉄幹)と晶子との末娘である森藤子さんから、ある催しの席上で直接に「父のこともよろしくお願い致します」と言われたことがある。娘としては、母が主であり父は従であるというような世間一般の見方に耐え難いものがあつたに違いない。そうした晶子が主菜で寛は添え物のような扱いは、研究面でも大して変わらないようである。

著者の太田さんとは与謝野晶子倶楽部での親交も深い、「鉄幹あつての晶子」「堺の晶子から世界の晶子へ」が持論の研究者である。その太田さんが藤子さんの思いにこたへるように、寛と晶子とが互いに琢磨しながら日本の近代文学史に輝かしい金字塔を築いた道筋を綿密に解明された。

寛と晶子とを相關的複眼的にとらえるという与謝野研究は、本書によって大きく飛躍することが確信される。文学研究者はもとより思想史や女性史を学ぶ人びとにも広く推奨したい。



八木書店

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-8

Tel:03-3291-2961 / Fax:03-3291-6300 pub@books-yagi.co.jp <http://www.books-yagi.co.jp>

啄木を分水嶺とする短歌史の創造
連綿と繋がる歌のところに迫る！

【2006年4月刊】

日本近代短歌史の構築

—晶子・啄木・八一・茂吉・佐美雄—

和歌から短歌へ、近代短歌から現代短歌へ、
新たな視点で構築する短歌史

太田 登 著

定価 8,580 円 (税込) ・ A5 判上製 ・ カバー装 ・ 492 頁 ISBN978-4-8406-9034-0

※在庫に美品がございません。ご注文の際はあらかじめご了承ください。

今まで個別の点として捉えられていた歌人・歌集を線として繋ぎ、三十一音に凝縮された豊穡な世界を読みとる！

明治30年代から昭和20年代にいたる短歌史を展望するに際して、「和歌から短歌へ」、そして「近代短歌から現代短歌へ」という大枠でとらえ、その分水嶺として歌人石川啄木を置いて論述。

第1章では、明治26年の落合直文による浅香社創立を近代短歌の出発、大正15年3月の島木赤彦の病没によって近代短歌から現代短歌への移行が確実にになったという見方を基本に据えて論述。特に近代短歌史の源流とも言うべき「明星」「アララギ」の動向や啄木の短歌観に焦点をあてる。

第2章では、とくに会津八一と奈良との関係や与謝野晶子をはじめとする女性歌人たちに焦点をあて、近代短歌の成熟を迎える大正短歌史を考察。

第3章では、いままで正当に位置づけられることが困難だった前川佐美雄の『植物祭』の短歌史的意義を明らかにし、さらに斎藤茂吉『暁紅』『寒雲』の作品世界における西欧体験を、日本の風土、文化にどのように蘇らせたかを論述。

結章では、先行研究を踏まえた近代短歌史構築のためにその展望と輪郭を明らかにした。収録論文全25編、すべて読みやすさを考えた平明な文体で論述。



「一握の砂」「悲しき玩具」を中心に、
〈うた〉を背負い続けた啄木という抒情主体に迫る

啄木短歌論考 抒情の軌跡

太田 登 著 [初版1991年]

[オンデマンド版]

定価 9,900 円 (税込) ・ A5 判並製 ・ カバー装 ・ 280 頁 ISBN978-4-8406-3600-1

啄木短歌の全貌をとらえ、その卓抜した魅力を追究。数々の謎を精緻に論究し、新しい啄木像を構築する力篇。引用短歌索引付。

【目次】

啄木という存在／野に叫ぶ抒情／メデューサの首／歌へるは誰そ／まなざしの歌集『一握の砂』／「穏かならぬ目付」の啄木／幻想の森への回帰／末期の眼でうたう啄木／飛翔する林中の鳥／死地に挑む抒情 他



八木書店

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-8 Tel:03-3291-2961 / Fax:03-3291-6300
pub@books-yagi.co.jp https://catalogue.books-yagi.co.jp/ *定価は10%税込みです。

日記のない与謝野夫妻の生涯を、著者自らが全国を博搜し収集した書簡で描く

新版 評伝与謝野寛晶子

全3冊：明治篇・大正篇・昭和篇

逸見久美 著

明治篇



【2007年8月】

定価 13,200円(税込)・A5判上製・カバー装・768頁 ISBN978-4-8406-9035-5

与謝野研究の第一人者が博搜し収集した新発見書簡と鉄幹・晶子全集の編集で培った研究成果を取り入れた与謝野研究の決定版！

明治篇には、寛と晶子の生い立ち・出会いから、『明星』の創刊・廃刊と新詩社の動向、『みだれ髪』刊行や明治44年寛の渡欧までを収録。



大正篇



【2009年8月】

定価 13,200円(税込)・A5判上製・カバー装・512頁 ISBN978-4-8406-9036-2

晶子が寛に会いに渡欧するくだりから説きおこす。毎年のように子を生き続けながら、歌集や評論や古典訳など、幅広いジャンルの作品をつぎつぎと生み出していった晶子と、それを蔭で支えた寛。与謝野夫妻が家族と歩んだ激動の大正時代をいきいきと描きだす。



昭和篇



【2012年8月】

定価 13,200円(税込)・A5判上製・カバー装・640頁 ISBN978-4-8406-9037-9

度重なる歌作りの旅、寛との死別を乗り越え、完成させた蜻蛉日記・源氏物語の現代語訳など晶子没年までを収録。あわせて明治・大正・昭和の総合索引を付す。



八木書店

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-8 Tel:03-3291-2961 / Fax:03-3291-6300
pub@books-yagi.co.jp <https://catalogue.books-yagi.co.jp/> *定価は10%税込みです。

日記の存在しない与謝野夫妻の日常をつぶさに語る
编者積年の研究の裏打ちとなった書簡の集大成！

明治 25 年河野鉄南宛寛書簡から晶子没年まで、未公開書簡 1,300 通を含む 2,100 余通を収録

与謝野寛晶子書簡集成

全 4 卷 逸見久美 編

※残部僅少

【第 1 卷】 明治 25 年～大正 6 年 (2002.10)

308 頁 書簡 416 通収録 定価 10,780 円 (税込)

【第 2 卷】 大正 7 年～昭和 5 年 (2001.7)

368 頁 書簡 557 通収録 定価 10,780 円 (税込)

【第 3 卷】 昭和 6 年～昭和 10 年 (2002.1)

312 頁 書簡 534 通収録 定価 10,780 円 (税込)

【第 4 卷】 昭和 11 年～昭和 17 年・年不明・補遺・索引他

392 頁・書簡 601 通収録 定価 13,200 円 (税込)

(2003.7)



A5 判・上製・カバー装・各巻平均 345 頁、総 1,380 頁
セット定価 45,540 円 (税込) ISBN 4-8406-9629-2 C0095

编者が長年博搜した書簡総数 2,108 通を発送年月日順に配列した。
過去に活字化され公開された書簡の内、雑誌などに掲載された書簡、
単行本収録の殆どの書簡（『天眠文庫蔵与謝野寛晶子書簡集』〈八木書店刊〉
収録分は除く）を掲載した。

活字化された書簡も、可能な限り原本に当たって新たに校合した。
封筒、葉書の別など、書簡の書誌的事項を可能な限り記した。

第 4 巻には、60 頁に及ぶ全巻の詳細な総合索引（宛名、人名、事項、
短歌）を付した。



倉敷市による所蔵文化資源の情報発信 **全3巻完結!**
演劇・美術・音楽・華道・出版など文学を巡る周辺文化圏の
大家28名が寄せた貴重な書簡を翻刻

倉敷市蔵

すすき だ きゅう きん

薄田泣菫宛書簡集

—文化人篇—

倉敷市 編著

2016年刊行 定価 10,780円 (本体 9,800円+税 10%)

A5判・上製本・カバー装・272頁 ISBN978-4-8406-9696-8 C0095 ¥9800E

書簡204通を収録、うち174通は初公開。洋画家である満谷国四郎・中澤弘光や「新著月刊」以来の後藤宙外・島村抱月との交友、「暮笛集」刊行に際しての金尾文淵堂：金尾種次郎からの製作の相談・報告の書簡などから、出版に伴う具体的な実務の実態とその人間関係の深さが読み取れる稀有な書簡群を収めている。また様々な分野で活躍する文化人たちの書簡には、詩人・新聞人・名随筆家としての敬愛すべき泣菫の人柄が語られている。補遺として志賀直哉・島崎藤村の新出書簡なども収載。巻末に、プロジェクトチームのメンバーが倉敷市における文化資源の情報発信の段取りや問題点を余すところなく語った座談会を掲げ、併せて今後の研究に資する薄田泣菫文庫所蔵書簡目録などを併載。

好評発売中! ^{2016年} 3/31 産経新聞・山陽新聞・4/1 毎日新聞岡山版・4/5 読売新聞岡山版で絶賛!

==目次==

刊行にあたって (倉敷市長 伊東香織)

薄田泣菫宛書簡雑談 (浦西和彦)

薄田泣菫宛書簡 翻刻

赤松麟作・内田魯庵・金尾種次郎・鹿子木孟郎・錦木清方・久保田万太郎・厨川白村・後藤宙外・島村抱月・鈴木鼓村・高須梅溪・高安月郊・竹内栖鳳・土田麦徳・坪内逍遙・徳富蘇峰・内藤湖南・中澤弘光・西川一草亭・平野履道・正宗得三郎・松井須磨子・満谷国三郎・森田恒友・安成貞雄・柳田国男・【補遺】志賀直哉・島崎藤村

座談会 倉敷市蔵薄田泣菫宛書簡 収集・調査・公開

倉敷市蔵薄田泣菫文庫書簡目録

※薄田泣菫文庫調査研究プロジェクトチーム (編集委員)

浦西和彦 (関西大学名誉教授)・掛野剛史 (埼玉学園大学)・片山宏行 (青山学院大学)・加藤美奈子 (就実短期大学)・庄司達也 (東京成徳大学)・西山康一 (岡山大学)・荒井真理亜 (相愛大学)・三宅昭三 (薄田泣菫顕彰会事務局長)



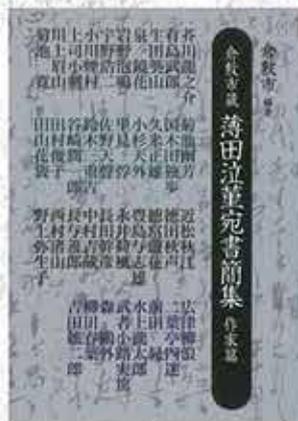
八木書店

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-8 Tel:03-3291-2961 / Fax:03-3291-6300
Email pub@books-yagi.co.jp <https://catalogue.books-yagi.co.jp/>

※作家名 収録通数 (うち本書初翻刻の通数)

作家篇

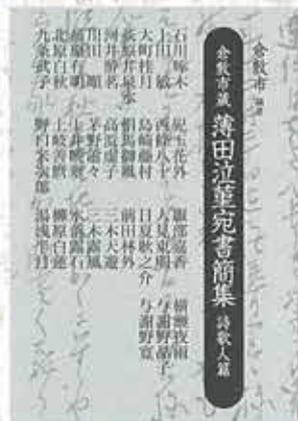
ISBN : 978-4-8406-9678-4 / 本体 9,800 円 + 税



芥川龍之介 41 (1)	菊池幽芳 8 (6)	近松秋江 1 (1)	広津柳浪 8 (8)
有島武郎 3 (0)	国木田独歩 4 (3)	徳田秋声 5 (3)	二葉亭四迷 1 (1)
生田葵山 7 (7)	久米正雄 1 (0)	徳富蘆花 5 (5)	前田晁 1 (1)
泉鏡花 5 (3)	小杉天外 6 (6)	豊島与志雄 2 (2)	水上瀧太郎 2 (2)
岩野泡鳴 1 (1)	里見淳 3 (2)	永井荷風 7 (6)	武者小路実篤 10 (3)
宇野浩二 2 (2)	佐野天声 2 (1)	長田幹彦 4 (3)	森鷗外 2 (2)
小川煙村 5 (5)	鈴木三重吉 1 (1)	中村吉蔵 2 (2)	柳川春葉 1 (1)
上司小剣 4 (4)	谷崎潤一郎 3 (2)	長与善郎 1 (0)	吉田絃二郎 3 (2)
川上眉山 3 (3)	田村俊子 1 (1)	西村渚山 2 (2)	
菊池寛 4 (0)	田山花袋 10 (9)	野上弥生子 2 (2)	

詩歌人篇

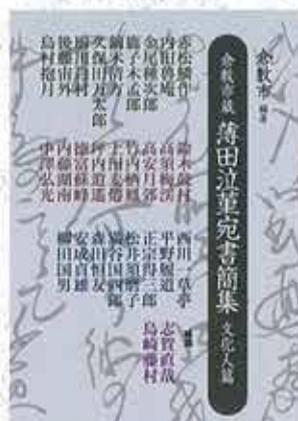
ISBN : 978-4-8406-9677-7 / 本体 9,800 円 + 税



石川啄木 1 (1)	児玉花外 3 (3)	服部嘉香 1 (1)	横瀬夜雨 1 (1)
上田敏 9 (4)	西条八十 1 (1)	人見東明 7 (7)	与謝野晶子 15 (9)
大町桂月 1 (1)	高崎藤村 4 (3)	日夏耿之介 9 (9)	与謝野寛 41 (37)
萩原井泉水 1 (1)	相馬御風 3 (3)	前田林外 5 (5)	
河井醉茗 1 (1)	高浜虚子 5 (5)	三木天遊 1 (1)	
川田順 11 (11)	茅野蕭々 8 (7)	三木露風 9 (7)	
蒲原有明 18 (17)	土井晚翠 5 (5)	水落露石 11 (11)	
北原白秋 7 (1)	土岐善磨 1 (1)	柳原白蓮 1 (1)	
九条武子 1 (1)	野口米次郎 4 (4)	湯浅半月 2 (2)	

文化人篇

ISBN : 978-4-8406-9696-8 / 本体 9,800 円 + 税



赤松麟作 1 (1)	鈴木鼓村 26 (17)	西川一草亭 8 (8)	【補遺】
内田魯庵 2 (2)	高須梅溪 2 (2)	平野履道 16 (16)	志賀直哉 8 (6)
金尾種次郎 9 (9)	高安月郊 25 (25)	正宗得三郎 1 (1)	高崎藤村 2 (2)
鹿子木孟郎 5 (4)	竹内栖鳳 1 (1)	松井須磨子 2 (2)	
鍋木清方 3 (2)	土田麦僊 1 (1)	満谷国四郎 7 (0)	
久保田万太郎 1 (1)	坪内逍遙 8 (7)	森田恒友 7 (7)	
厨川白村 4 (3)	徳富蘇峰 3 (3)	安成貞雄 3 (3)	
後藤宙外 33 (27)	内藤湖南 1 (1)	柳田国男 2 (2)	
島村抱月 22 (20)	中澤弘光 1 (1)		

申込書	倉敷市編著・八木書店刊		取扱店 (番線印)
	倉敷市蔵 薄田泣菫宛書簡集 好評発売中！		
	—作家篇— [] 冊 —詩歌人篇— [] 冊 —文化人篇— [] 冊		
	お名前 (ふりがな)	TEL	
ご住所 〒	FAX		
	E-MAIL		

完成された作品では分からない
近代文学研究に不可欠な作品の生成過程を明らかに

近代文学草稿・原稿 研究事典

日本近代文学館編

(編集委員…安藤宏・栗原敦・紅野謙介・十重田裕一・中島国彦・宗像和重)

二〇一五年刊行 好評発売中

●定価一三、二〇〇円 (本体一二、〇〇〇円+税10%)

A5判上製・カバー装・四一六頁 ISBN 978-4-8406-9690-6 C0591



近世から現代まで作家の収入はどのように変遷したのか？

日記・書簡を中心に各種文献資料から作家の報酬に関する記述を博搜。
関連することからを簡略にまとめた読める年表！

浅井清・市古夏生 監修

作家の原稿料

作家の原稿料刊行会 編著

(代表：谷口幸代)

2015 年刊行

● A5 判上製・カバー装・460 頁

● 定価 9,900 円 (本体 9,000 円+税 10%)

ISBN978-4-8406-9760-6 C0095 ¥9000E



目次

論考篇

活字文化の誕生と原稿料 (浅井清)

戯作と報酬 (佐藤至子)

職業としての〈書くこと〉—樋口一葉の場合 (菅聡子)

大正期における岩野泡鳴の原稿料 (市古夏生)

〈婦人記者〉の仕事と賃金 (藤本恵)

三上於菟吉「原稿贖札説」の虚実 (谷口幸代)

「文章を売ること」—昭和十年代、中野重治の原稿料 (竹内栄美子)

年表篇 (元禄6年～昭和49年)

- 本書は、出版者・出版社の関係資料、及び作家の自伝・日記・書翰、編集者の回想記などの関連資料の蒐集と検討に基づき、作家の報酬の実態を調査・分析したものである。
- 本書で扱う報酬とは、狭義の原稿料はもとより、印税・画料・脚色料・上演料・講演料・校閲料・賞金・給料・版權・著作権まで広く含めている。
- 本書は論考篇と年表篇の二部構成とした。論考篇は、近世、明治、大正、昭和の各時代にわたる原稿料の様相と印税制度の定着、作家の経済的自立などの諸課題を考察した。年表篇は、近世から近現代に至る作家の報酬の史の変遷を記す資料を元に読みやすく記述した。
- 年表篇で取り上げた主な作家は、西鶴・馬琴・福沢諭吉・坪内逍遙・岩野泡鳴・永井荷風・谷崎潤一郎・菊池寛・室生犀星・三島由紀夫・山田風太郎。その他、画家・出版人等々。
- 作家の原稿料は、その生活を左右するばかりではなく、作家の社会的位置づけとも関係する。
- 社会的動向を知るために不可欠な、著作権法などの法律の施行日・出版契約書なども適宜記載した。
- 巻末に、本書の記述項目の根拠となる出典略称一覧・索引を付す。

八木書店

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-8

Tel:03-3291-2961 / Fax:03-3291-6300 pub@books-yagi.co.jp http://www.books-yagi.co.jp

日本近代文学館発行 文芸雑誌複刻版シリーズ

これまで日本近代文学館にて発売しておりましたが、2004年9月より小社にて発売することとなりました。

発行：日本近代文学館（1983年）

文

ISBN4-8406-8026-4
B5判 総430頁 本体16,000円

体



昭和22年（1947）12月～昭和24年（1949）7月・全4冊
戦後北原武夫・宇野千代の文体社から創刊された季刊文芸雑誌。美術的な編集とあいまって、戦争直後の雑誌としては卓抜で豪華。小説、翻訳、詩、日記、対談など多彩で、ユニークな文芸季刊誌として異彩を放っている。（2004.9）

発行：日本近代文学館（1975年）

人

ISBN4-8406-8004-3
菊判 総6,102頁 本体75,000円

間



大正8年（1919）11月～大正11年（1922）6月・全24冊
里見弴、久米正雄らが中心となり玄文社から創刊。スバル派・新思潮派・白樺派の作家が執筆・寄稿。文壇中堅の地位を占めていた作家たちが、思想や主義にとらわれず、それぞれの持ち味、才能を自由に発揮させた、大正文壇の絶頂期を象徴する雑誌。（2004.9）

発行：日本近代文学館（1977年）

新 興 文 学

ISBN4-8406-8005-1
菊判 総1,752頁 本体42,000円

学



大正11年（1922）11月～大正12年（1923）8月・全9冊
山田清三郎創刊。労働者文学・民衆芸術のグループが統一的に参加し、震災前のプロレタリア文学運動に大きな役割を果たす。旧芸術破壊のアヴァン・ギャルドとプロレタリア文学とを結びつける活気にみちた誌面をつくり新興文学の統一戦線を形づくった。（2004.9）

発行：日本近代文学館（1976年）

文 芸 市 場

ぶんげいしじょう
ISBN4-8406-8006-X
菊判 総2,145頁 本体53,000円

場



大正14年（1925）11月～昭和2年（1927）5月・全19冊
梅原北明を中軸に、金子洋文、村山知義らを編集同人とし、表現主義的、ダダ的編集とともに震災後の文壇の注目を浴びる。豊富な文壇ゴシップの登場、プロレタリア作家、ロシア作家の紹介等多くの特集記事や文筆家芳名録等の貴重資料を含む雑誌。（2004.9）

発行：日本近代文学館（1985年）

文 芸 公 論

ISBN4-8406-8007-8
菊判 総2,584頁 本体85,000円

論



昭和2年（1927）1月～昭和3年（1928）5月・全17冊
新進の詩人・評論家橋爪健がほぼ独力で編集発行した総合文芸誌。既成文壇打倒の旗印のもと新感覚派からプロレタリア文学に到る各派の新人を糾合して、創作・評論、合評会、アンケート、漫画、海外・地方文壇の紹介など新機軸を駆使した誌面を作った。（2004.9）

発行：日本近代文学館（1981年）

作 品 I～III

I ISBN4-8406-8008-6
菊判 総3,674頁 本体108,000円

II ISBN4-8406-8009-4
菊判 総3,312頁 本体88,000円

III ISBN4-8406-8010-8
菊判 総3,682頁 本体104,000円

品



昭和5年（1930）5月～昭和7年（1932）12月・全80冊
昭和5年5月、小野松二編集で作品社から創刊され、純正芸術派ともいべきグループの拠点として、その後の昭和文学の展開に大きな役割を果たした。翻訳史上で果たした意義もきわめて大きい。特集、座談会も誌面を精彩あるものにし、呼びものになった誌上出版記念会をはじめ、追悼特集、新進特集、また随筆、感想欄にもこの雑誌の特色が生き生きと示される。（2004.9）

発行：日本近代文学館（1967年）

四

ISBN4-8406-8011-6
原寸（21～23cm）総6,000頁 本体180,000円

季



昭和8年（1933）5月～昭和19年（1944）6月・全81冊
堀辰雄により創刊、小説、詩、評論、翻訳などを掲げた豪華な詩文集として注目される。翌年、三好達治ら三人の編集により改めて創刊。戦争下の芸術荒廃の時代に清潔で気品の高い詩誌の独自の雰囲気を守り通し、昭和詩の展開に大きな影響を与えた。（2004.9）

発行：日本近代文学館（1975年）

文 学 界

ISBN4-8406-8012-4
菊判 総4,605頁 本体65,000円

界



昭和8年（1933）10月～昭和11年（1936）6月・全25冊
「文芸復興」の機運の中で、川端康成、武田麟太郎、小林秀雄、広津和郎らの編集同人により文化公論社から創刊。横光利一、里見弴らが加わり5号まで刊行、その後村山知義、島木健作、舟橋聖一、河上徹太郎らを加え文壇の中心勢力を擁する雑誌となった。（2004.9）

発行：日本近代文学館（1985年）

歴

れきてい

ISBN4-8406-8013-2
菊判 総1,100頁 本体50,000円

程

昭和10年（1935）5月～昭和19年（1944）3月・全26冊
逸見猶吉、草野心平、伊藤信吉などが順次編集を担当、一党一派に拠らない個性的な詩人たちが参加し、高村光太郎、吉田一穂らが寄稿した。宮沢賢治、八木重吉の遺稿を掲載するなど激動の昭和10年代にあって、個性豊かな詩人たちがその詩魂を賭けた雑誌。（2004.9）

発行：日本近代文学館（1981年）

近代文

I ISBN4-8406-8014-0

A5判 総3,640頁 本体112,000円

II ISBN4-8406-8015-9

A5判 総4,712頁 本体128,000円

III ISBN4-8406-8016-7

A5判 総3,870頁 本体102,000円

学

昭和21年（1946）1月～昭和25年（1950）8月・全45冊
山室静、平野謙、本多秋五、埴谷雄高、荒正人、佐々木基一、小田切秀雄という青春期にマルクス主義文学運動の直接間接の影響をうけ、戦争の暗い谷間での共通の原体験を持った七名を創刊同人とし、主体性論、戦争責任論、転向文学論、政治と文学論、組織と個人論など多岐にわたる問題を精力的に行って注目を浴びた、戦後文学の推進者として大きな使命を果たした雑誌。（2004.9）

発行：日本近代文学館（1980年）

世

ISBN4-8406-8017-5
A5判 総1,232頁 本体44,000円

代

昭和21年（1946）7月～昭和28年（1953）2月・全17冊
東大と一高の学生を中心に創刊。全国の学生インテリゲンチヤの結集を標榜して発刊された総合文化雑誌。マチネ・ポエティックの人々の活躍の他、清岡卓行、中村稔、吉行淳之介らが次々に登場した戦後の文化史、文学史の中できわめて重要な稀覯雑誌。（2004.9）

発行：日本近代文学館（1983年）

地上巡

ちじょうじゅんれい

ISBN4-8406-8018-3
原寸（菊変型・四六倍変型）総496頁 本体38,000円

礼

大正3年（1914）9月～大正4年（1915）3月・全6冊
北原白秋が興した巡礼詩社から発行。白秋の詩歌転換期をうかがえることは勿論、萩原朔太郎、大手拓次、室生犀星など白秋に何らかの影響を受けた詩人、白秋とは別系統の島木赤彦、斎藤茂吉など、次代の詩歌壇に雄飛する人々が顔を揃えた屈指の雑誌。（2004.9）

発行：日本近代文学館（1974年）

山

やままゆ

ISBN4-8406-8019-1
菊判 総1,658頁 本体30,000円

繭

大正13年（1924）12月～昭和4年（1929）2月・全36冊
「青銅時代」から分かれた石丸重治、永井龍男、小林秀雄などを中心に創刊された文芸同人誌。創刊6ヶ月たらずで病歿した富永太郎が「秋の悲歎」等の詩を載せた傑出した雑誌。表紙・扉・カットは富本憲吉のあとをうけ梅原龍三郎が担当。（2004.9）

発行：日本近代文学館（1970年）

辻馬

ISBN4-8406-8020-5
菊判 布装秩入 総2,462頁 本体20,000円

車

大正14年（1925）3月～昭和2年（1927）10月・全32冊
藤沢恒夫、神崎清など大阪高校生9名により創刊。小出楯重の表紙と斬新な表現の作品掲載で注目され、都会的で洗練された印象により、当時の同人誌の中で最有力誌の一つとなった。（2004.9）

発行：日本近代文学館（1974年）

文

ISBN4-8406-8021-3
B5変型判 総682頁 本体10,500円

科

昭和6年（1931）10月～昭和7年（1932）3月・全4冊
牧野信一が主宰して創刊。表紙の装幀は青山二郎。牧野は名作「心象風景」を連載、また小林秀雄との共訳でポオの「ユレカ」を発表。この他、坂口安吾「竹藪の家」、稲垣足穂「青い箱と紅い骸骨」など多くの佳作が掲載され芸術派の新進作家が発表された。（2004.9）

発行：日本近代文学館（1980年）

新

ISBN4-8406-8024-8
A4変型判 総1,072頁 本体35,000円

生

昭和20年（1945）11月～昭和22年（1947）3月・全16冊
第二次大戦直後に一早く創刊された総合雑誌で、正宗白鳥、永井荷風ら大家が執筆するなど、戦時中沈黙を守った思想家、文学者が次々に登場、新しい時代の到来を強烈に印象づけ、大きな反響をよんだ。（2004.9）

発行：日本近代文学館（1981年）

荒

あれち

ISBN4-8406-8025-6
A5判 総288頁 本体15,000円

地

昭和22年（1947）9月～昭和23年（1948）6月・全6冊
戦前の「新領土」「VOU」「LUNA」などのモダニズム系の詩誌に属していた鮎川信夫、加島祥造、北村太郎、木原孝一、黒田三郎、中桐雅夫、三好豊一郎らが田村隆一の要請に応じて集まり創刊。当時の社会的現実を抵抗して新たな詩的秩序を志向した。（2004.9）

発行：日本近代文学館（1972年）

プロレタリア文学

〔**帙入**〕 ISBN4-8406-8022-1
菊判 総2,900頁 本体18,500円〔**合本**〕 ISBN4-8406-8023-X
菊判 総2,900頁 本体20,000円

日本プロレタリア作家同盟の機関誌として創刊。作家同盟は昭和7年（1932）2月、国際革命作家同盟に正式に加盟し、その日本支部（略称ナルプ）となったため、厳しい弾圧を受け、毎号のように発売禁止にあった。プロレタリア文学の重要な評論、報告、記録、声明などを数多く掲載し、この時期のナルプの文学・芸術運動の到達点を示す。第2巻第3号を除く全19冊を複製。

(2004.9)

発行：日本近代文学館（1974年）

白痴群 I・II

はくちぐん

I ISBN4-8406-8027-2
菊判 総296頁 本体6,300円II ISBN4-8406-8028-0
菊判 64頁 本体1,700円

I：昭和4年（1929）4月～昭和5年（1930）1月・全5冊
II：昭和5年4月・1冊

河上徹太郎、中原中也を中心に、大岡昇平、富永次郎、安原喜弘、古谷綱武などが加わって創刊された文芸同人誌。中原中也は「寒い夜の自画像」その他の中期の主要な作品を発表し、河上徹太郎「ヴェルレーヌの愛国詩」「アンドレ・ジッドと純粋小説」などの評論、阿部六郎「放たれたバラバ」、河上訳のヴァレリー「レオナルド・ダ・ヴィンチ方法論序説」等が掲載。

(2004.9)

発行：日本近代文学館（1976年）

鶴

ばん

ISBN4-8406-8029-9
B5変型判 総440頁 本体5,500円

昭和9年（1934）4月・7月・全2冊
プロレタリア文学運動の退潮と、文芸復興の機運の中、古谷綱武、檀一雄が中心となって創刊された同人雑誌。中原中也、金子光晴らの詩や、太宰治「猿面冠者」の他、亀井勝一郎、伊藤整、坂口安吾、大岡昇平といった人々の評論や随想を満載。

(2004.9)

発行：日本近代文学館（1981年）

方舟

はこぶね

ISBN4-8406-8030-2
250×176mm 総240頁 本体8,000円

昭和23年（1948）7月・9月・全2冊
戦前から〈マチネ・ポエティック〉のグループを形成し、戦後「世代」や「近代文学」誌上で旗幟を鮮明にし注目された文学者たちの拠点として創刊。詩・小説・エッセイ等等が同一の創造的基底から発するという信念を標榜し新しい美学の世界をめざした。

(2004.9)

発行：日本近代文学館（1981年）

序曲

じよきよく

ISBN4-8406-8031-0
A5変型判 170頁 本体5,000円

昭和23年（1948）12月・全1冊
杉森久英を中心に、戦後派作家の結集を目指して発行し、編集同人として埴谷雄高、武田泰淳、中村真一郎、梅崎春生、野間宏、船山馨、寺田透、三島由紀夫、椎名麟三、島尾敏雄の10人を集めた。戦後文学の成熟をめざす貴重な一里塚となった。

(2004.9)

発行：日本近代文学館（2004年）

ホトトギス (明治後期)

ほととぎす

〔**帙入**〕 ISBN4-8406-8001-9
菊判（原型完全複製）108,000円〔**合本**〕 ISBN4-8406-8002-7
菊判（原型完全複製）・合本12冊【品切】

明治31年10月～大正元年9月・全76冊
明治31年10月、高浜虚子が、正岡子規を初め日本派の俳人の協力で面目を一新させて東京で刊行し、俳壇の主流的位置を保ちつづけた。明治・大正・昭和の主要な俳人はほとんど同誌より巣立った。さらに一方、子規・虚子による写生文の主張によって、河東碧梧桐、寒川鼠骨、坂本四方太、岡麓、村上鬼城、寺田寅彦等の写生文、つづいて小説への関心から夏目漱石の「吾輩は猫である」の掲載に始まり、漱石を初め虚子、鈴木三重吉、伊藤左千夫、長塚節、野上弥生子、加能作次郎等の文壇進出となりました。また美術にも関心を持ったことから橋口五葉、中村不折、浅井忠、小川芋銭、平福百穂、石井柏亭、斎藤与里、前川千帆、渡辺与平、津田青楓、坂本繁二郎其の他の絵で表紙や誌面が飾られている。

(2004.9)



丸善のライブラリアン向け情報サイト

Library Navigator

最新情報をご案内中！
QRコードからご覧頂けます



Maruzen eBook Libraryは、学術・研究機関の為の学術情報に特化した電子書籍をご提供する丸善雄松堂オリジナルのプラットフォームです

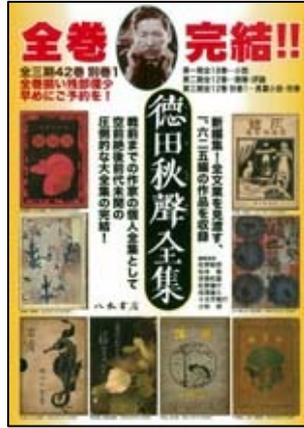
丸善雄松堂の機関向け電子書籍提供サービス



<https://elib.maruzen.co.jp/>

【八木書店】近代作家全集 3 タイトル好評発売中！

2022 年は、徳田秋聲生誕 150 周年！



石橋忍月全集 (全4巻+補巻)	全4巻+補巻揃価格 同時1アクセス(本体)	¥129,000				
	全4巻+補巻揃価格 同時3アクセス(本体)	¥193,500				
監修 山本健吉・稲垣達郎・小田切進 編集委員 榎本司・嘉部嘉隆・佐久間保明・千葉真郎・畑實						
日本近代文学の黎明期に立つ文芸批評の先駆者の仕事を初めて集大成。未公開の石橋家資料（故山本健吉氏所蔵）を始め、丹念な金沢・長崎・郷里黒木町の調査により新たな忍月像を提示、忍月の生涯を見渡せる全集。逍遙・二葉亭・鷗外とともに近代文学の素地を確立。紅葉・露伴の価値を公にする。						
No.	書名	発行年	冊子版ISBN	同時1アクセス(本体)	同時3アクセス(本体)	商品コード
1	第1巻 小説1	1995	9784840693950	¥25,800	¥38,700	1018940569
2	第2巻 小説2・訳詩俳句他	1996	9784840693967	¥25,800	¥38,700	1018940570
3	第3巻 評論	1995	9784840693974	¥25,800	¥38,700	1018940571
4	第4巻 雑纂	1996	9784840693981	¥25,800	¥38,700	1018940572
5	補巻	1996	9784840693998	¥25,800	¥38,700	1018940573
近松秋江全集 (全13巻)	全13巻揃価格 同時1アクセス(本体)	¥209,287				
	全13巻揃価格 同時3アクセス(本体)	¥313,950				
	各巻価格 同時1アクセス(本体)	¥16,099				
	各巻価格 同時3アクセス(本体)	¥24,150				
編集委員 紅野敏郎・中尾務・遠藤英雄・田沢基久・笹瀬王子						
未練・執着…、その果てにある作家の生き方！大正文士の粋を集大成。体験を芸術化した希有の物語作者。「無駄話」を「批評」に結実させた文学者。その全貌、いまここに甦える！						
未練・執着、その果てにある作家の生き方。大正文士の粋を集大成。近松秋江初の画期的全集。初出テキスト、編年体で編み、新たな視点を提示。名作「黒髪」を中心とした全小説と膨大な量に及ぶ評論を収録。近代文学史を再検討するにたる貴重な全集。						
徳田秋聲全集 (全42巻+別巻)	全42巻+別巻揃価格 同時1アクセス(本体)	¥695,457				
	全42巻+別巻揃価格 同時3アクセス(本体)	¥1,043,249				
編集委員 紅野敏郎・松本徹・宗像和重・田沢基久・紅野謙介・十文字隆行・小林修						
第54回菊池寛賞・第22回出版権会新聞社学芸文化賞受賞！						
硯友社時代から戦中まで常に日本近代文学の第一線でその根幹に位置した大文豪の全貌を初めて示す。毎日新聞（2006年7月20日・9月15日）、読売新聞（2006年8月5日）、朝日新聞（2006年8月14日）等各紙絶賛紹介。						
収録作品数416点。						
各巻詳細はお問い合わせください。						



八木書店

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 3-8 【Tel】 03-3291-2961 【Fax】 03-3291-6300
【E-mail】 pub@books-yagi.co.jp 【Web】 <https://catalogue.books-yagi.co.jp/> ※表示価格は税別

太陽

<https://japanknowledge.com/library/>

日清戦争から昭和まで、近代日本研究に不可欠な一大総合雑誌

当時の主力雑誌を次々と手がけ、日本における総合出版社としての地位を確立した博文館。その博文館の代表的雑誌とも言われるのが『太陽』です。1894 年末、日清戦争後の社会変化に対応した総合雑誌として創刊された『太陽』は、当時のオピニオンリーダーとしての役割を担っていきました。

代々の主筆は坪谷水哉、高山樗牛、鳥谷部春汀、浮田和民、長谷川天溪、平林初之輔。創刊号は、論説、史伝、地理、小説、雑録、文苑、芸苑、家庭、政治、法律、文学、科学、美術、商業、農業、工業、社会、海外思想、輿論一斑、社交案内、新刊案内、海内彙報、海外彙報、英文の 24 欄。以降も、政治、経済、社会に関する評論に重点を置きながら、諸産業の知識技術普及、芸術や文学、家庭生活等まで幅広くカバー。また、各界の名士 200 人以上が太陽名誉賛成員を成し、執筆も各分野の著名人を網羅しています。

揃えるのが困難な稀少雑誌の原本を 2 冊以上照合し、落丁・乱丁のない完全な定本を提供します。

『中央公論』『改造』に先駆けた、まさに日本初の総合雑誌！



近時之婦人問題 (大正 2 年 6 月) 分売③ 大正

【発行年月】

明治 28 年 (1895 年) 1 月

↓

昭和 3 年 (1928 年) 2 月



日露海戦史 (明治 37 年 11 月) 分売② 明治 2



世界一周 (明治 33 年 11 月) 分売① 明治 1



創刊号 (明治 28 年 1 月) 分売① 明治 1

【発行元】博文館

【総冊数】全 34 巻 531 冊

【総頁】17 万 5,000 頁

【総執筆数】約 6,500 名

【編集委員】

青木稔弥・池内輝雄・井澤恒夫・梅澤宣夫・大野亮司・金子明雄・紅野謙介・佐久間保明・曾根博義・高橋修・竹松良明・吉田司雄・林淑美・和田敦彦

編集・刊行：日本近代文学館 / 製作・発売：八木書店

開発・運営：株式会社ネットアドバンス

太陽の多彩な検索機能

基本検索 **詳細(個別)検索** **本棚**

検索コンテンツを選ぶ
日本近代文学館

範囲: **すべて** 条件: **部分一致**

検索 クリア

絞り込み: 書目 ×

40703 件

1. (※表紙) 一括印刷 太陽 第1巻第1号(明治28年1月1日) 表紙 佐久間文吾

2. 目次 一括印刷 太陽 第1巻第1号(明治28年1月1日) 目次

3. 現内閣大臣肖像(※写真九点) 一括印刷 太陽 第1巻第1号(明治28年1月1日) 口絵

4. 貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶/貴族院副議長侯爵黒田長成/衆議院議長楠本正隆/衆議院副議長島田三郎(※写真四点) 一括印刷

5. 戦捷の元旦(※写真九点) 一括印刷

6. 太陽の発刊

7. 論説 学界の大

発行年月日/巻号

すべてを指定
年月日を指定
巻号を指定

明治23(1890)年 1月 1日 ~ 昭和19(1944)年 12月 31日

1巻 1号 ~ 最終巻 最終号

専用ビューワにて表示
前頁/次頁への移動、頁数を指定しての移動、目次にて記事を指定しての移動が可能。

発行年月日/巻号
発行年月日、巻号を指定しての検索も可能。
明治28年1月1日~明治45年7月29日
のように、範囲を指定することもできる。

太陽 第1巻第1号(明治28年1月1日)

目次

現内閣大臣肖像(※写真九点)
貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶/貴族院副議長侯爵黒田長成/衆議院議長楠本正隆/衆議院副議長島田三郎(※写真四点)
戦捷の元旦(※写真九点)
太陽の発刊
論説 学界の大革新
論説 戦後の教育
論説 戦争後の学術
論説 戦争と文学
論説 漢字の行書
論説 国語教育に就て
論説 事物交通の研究に対する人類学的方法
論説 経済的競争
論説 農業教育に就て
論説 対清政策
論説 日本帝國の任務
史伝 紀元前の著名なる航海者
史伝 『眞實』 権休載のことわり
史伝 久保邦武守忠論
地理 京都の新興内記
地理 〔京都名蹟〕(※写真二点)
地理 野樺太道探検紀行
地理 口面の鼻と就て
小説 遊記

JKBooks シリーズ Web 版日本近代文学館「太陽」料金表

	新規購入価格	パッケージ版購入者 ご優待価格 ※1	年間システム利用料 ※2
太陽〔フルセット〕	2,400,000 円	480,000 円	48,000 円
分売① 明治1(明治28年~明治36年)	800,000 円	160,000 円	16,000 円
分売② 明治2(明治37年~大正元年)	800,000 円	160,000 円	16,000 円
分売③ 大正(大正2年~昭和3年)	800,000 円	160,000 円	16,000 円

※表示価格に消費税は含まれていません。

※1 過去にパッケージ版(CD-ROM版)をご購入の方がWeb版を購入される際の料金です。

※2 JKBooksをジャパンレヅジ Libと切り離して単独で利用される場合の料金です。毎年課金されます。同時アクセス数は4です。

ジャパンレヅジ Libとプラットフォームを統合して利用される場合は、年間システム利用料はかかりません。なお、同一プラットフォームで利用される場合の同時アクセス数はジャパンレヅジ Libのご契約アクセス数が適用されます。

購入をご検討の際には、1か月間の無料トライアルが可能です。

製作・発売 八木書店

総合営業部
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 3-8
TEL: 03-3291-2961 FAX: 03-3291-6300
E-mail: pub@books-yagi.co.jp

開発・運営 NetAdvance

小学館グループ 株式会社ネットアドバンス
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-30
TEL: 03-5213-0872 FAX: 03-5213-0876
E-mail: b2b@japanknowledge.com

販売総代理店 紀伊國屋書店

書籍・データベース営業部
〒153-8504 東京都目黒区下目黒 3-7-10
TEL: 03-6910-0518 FAX: 03-6420-1359
E-mail: online@kinokuniya.co.jp

文芸倶楽部 明治篇

<https://japanknowledge.com/library/>

明治期を代表する文芸誌の全貌を初めて明かす！

明治28年、博文館では、それまで発行していた『明治文庫』『春夏秋冬』『世界文庫』『逸話文庫』『文芸共進会』等の雑誌、叢書を統合して『文芸倶楽部』を発刊しました。当時の読者の絶大な支持を受けた文芸雑誌の誕生です。

樋口一葉の「たけくらべ」が『文芸倶楽部』に一括掲載されたことで一葉の名声は不動となりました。その他にも泉鏡花、尾崎紅葉、田山花袋、山田美妙など重要人物が多数登場しました。

また毎号巻頭には鏑木清方、小林清親、武内桂舟ら、多数の画家が描いた木版口絵や挿絵を掲載しました。

芸妓・役者・芸人らの貴重写真や当時の世相風俗の記事も多数収録しており、近代文学研究はもちろん、美術・演劇・落語・風俗等の近代日本研究に必須の一般資料です。



水野年方画 木版極彩色口絵（泉鏡花作「外科室」挿絵）
（第6編、明治28年6月）分売①

【発行元】博文館

【発行年月】明治28年（1895年）1月～大正元年（1912年）12月

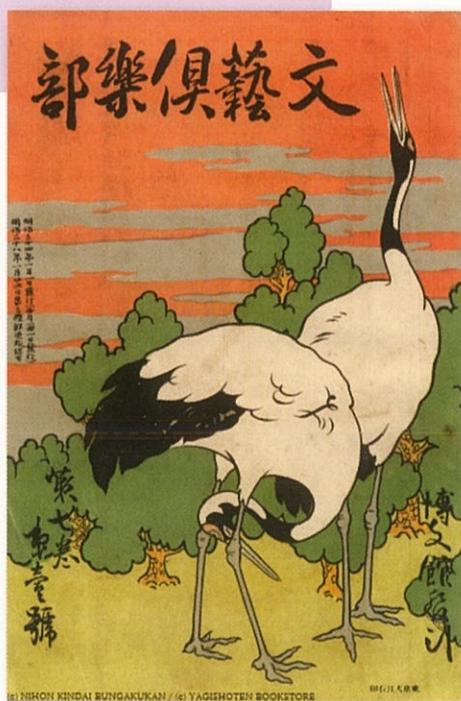
【総冊数】全18巻284冊

【総頁】10万8,070頁

【総執筆者数】約2,600名

【編集委員】

青木稔弥・猪狩友一・小平麻衣子・
紅野謙介・笹瀬王子・関肇・
十川信介・宗像和重・山田俊治・
吉田昌志・和田敦彦



◀現代第一流の講談落語家
（第13巻第14号、明治40年10月）分売③



閨秀小説（第12編、明治28年12月）分売①

◀武内桂舟画 表紙 旭鶴二十世紀
（第7巻第1号、明治34年1月）分売②

編集・刊行：日本近代文学館
製作・発売：八木書店
開発・運営：株式会社ネットアドバンス

文芸倶楽部 明治篇 の多彩な検索機能

範囲：
記事の種類によって、「特集号名」「頁分類」「分類+総題」「個別題」「細目」「執筆者(原本表記)」「執筆者(統一表記)」の7分類にて絞り込みが可能。

一括印刷
記事全文をPDF形式にて表示。印刷も可能。

専用ビューワにて表示
前頁/次頁への移動、頁数を指定しての移動、目次にて記事を指定しての移動が可能。

発行年月日/巻号
発行年月日、巻号を指定しての検索も可能。
明治 28 年 1 月 1 日～明治 45 年 7 月 29 日
のように、範囲を指定することもできる。

JKBooks シリーズ Web 版日本近代文学館「文芸倶楽部 明治篇」料金表

	新規購入価格	パッケージ版購入者 ご優待価格 ※1	年間システム利用料 ※2
文芸倶楽部 明治篇〔フルセット〕	1,800,000 円	360,000 円	36,000 円
分売① (明治 28 年～明治 33 年)	600,000 円	120,000 円	12,000 円
分売② (明治 34 年～明治 39 年)	600,000 円	120,000 円	12,000 円
分売③ (明治 40 年～大正元年)	600,000 円	120,000 円	12,000 円

※表示価格に消費税は含まれていません。

※1 過去にパッケージ版 (DVD 版) をご購入の方が Web 版を購入される際の料金です。

※2 JKBooks をジャパンナレッジ Lib と切り離して単独で利用される場合の料金です。毎年課金されます。同時アクセス数は 4 です。

ジャパンナレッジ Lib とプラットフォームを統合して利用される場合は、年間システム利用料はかかりません。なお、同一プラットフォームで利用される場合の同時アクセス数はジャパンナレッジ Lib のご契約アクセス数が適用されます。

購入をご検討の際には、1 か月間の無料トライアルが可能です。

製作・発売 八木書店

総合営業部
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 3-8
TEL: 03-3291-2961 FAX: 03-3291-6300
E-mail: pub@books-yagi.co.jp

開発・運営 NetAdvance

小学館グループ 株式会社ネットアドバンス
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-30
TEL: 03-5213-0872 FAX: 03-5213-0876
E-mail: b2b@japanknowledge.com

販売総代理店 紀伊國屋書店

書籍・データベース営業部
〒153-8504 東京都目黒区下目黒 3-7-10
TEL: 03-6910-0518 FAX: 03-6420-1359
E-mail: online@kinokuniya.co.jp

第一高等学校 校友会雑誌

<https://japanknowledge.com/library/>

旧制一高の精神世界が余すところなく記された貴重な雑誌

旧制一高生の多くは天下の俊才を自負して全国から集まり、全寮制で切磋琢磨した生活をおくっていました。彼らは真摯に時代に対峙し、時代とともに悩み、自己を確立していきました。そういう若者たちが、商業雑誌とは性格の異なる『校友会雑誌』で近代の論壇、文壇を形成していった足跡をたどることができます。

主な記事

- 小説** 上田敏「ウクライン五月の夜」(ゴーゴリ初訳) (明治26年3月)
 大佛次郎「鼻」(大正6年11月)
 川端康成「ちよ」(大正8年6月)
 羽仁五郎「狸を殺す話」(大正8年9月)
 高橋健二「懊悩」(大正10年6月)
 高見順「生きてゐるめるへん」(昭和2年1月)
 中島敦「下田の女」(昭和2年11月)
 吉田精一「影」(昭和3年7月)
 立原道造「あひみてののちの」(昭和6年10月)
 森敦「酉の日」(昭和7年1月)
 福永武彦「かにかくに」(昭和11年6月)
 加藤周一「正月」(昭和13年2月)
 いいだもも「風景の心理学」(昭和18年11月)

- 短歌** 菊池寛「屠獸場への道」(明治45年4月)
 倉田百三「わがいのちの歌」(大正2年2月)

- 詩** 谷川徹三「ひとりの男のうたへる」(大正3年12月)
 堀辰雄「帆船船/古足袋/書物生活」(大正13年5月)
 福永武彦「その昔」(昭和11年6月)
 清岡卓行「名に寄す」(昭和16年6月)

- 短歌** 河東碧梧桐・高浜虚子・夏目漱石ほか「俳句会吟草」(明治36年6月)

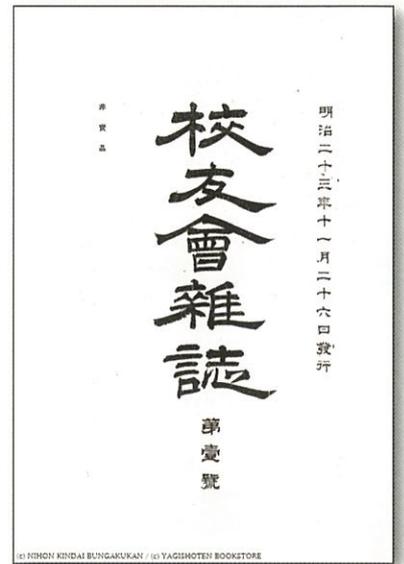
- 戯曲** 大貫晶川「脚本 花散る夕 一幕物」(明治41年5月)
 久米正雄「青いフィルム」(明治44年10月)

- 評論** 吉野源三郎「ストリンドベルクの悲劇 上」(大正10年6月)
 中村光夫「トーキーの映画的發展」(昭和5年5月)
 中村眞一郎「憧憬と虚無(竹取物語素描)」(昭和12年2月)

- 論文** 上田敏「文学に就て」(明治23年12月)
 魚住折蘆「自殺論」(明治37年5月)
 和辻哲郎「靈的本能主義」(明治40年11月)
 林達夫「歌舞伎劇に関するある考察」(大正7年3月)

- 追悼文** 安倍能成ほか「藤村操君を想ふ」(明治36年6月)

著名人たちの
 未知の習作・処女作を
 多数収録!



立原道造



清岡卓行



久米正雄



高見順



中村光夫



川端康成



倉田百三



安倍能成



堀辰雄



中島敦



菊池寛



谷川徹三



魚住折蘆



中村眞一郎



和辻哲郎



上田敏



大佛次郎

【発行元】第一高等学校校友会

【発行年月】明治23年(1890年)11月~昭和19年(1944年)6月

【総冊数】全380冊

*発行全382冊、うち大正12年発行の293号・295号が未発見のため未収録

*改題し「護国会雑誌」全7冊(昭和16年6月~昭和19年6月)

【総頁】3万8,864頁

【総執筆者数】約2,200名

編集委員

池内輝雄・稲垣真美・曾根博義・東郷克美・
 十川信介・中島国彦・中村稔

編集・刊行：日本近代文学館

製作・発売：八木書店

開発・運営：株式会社ネットアドバンス

第一高等学校 校友会雑誌 の多彩な検索機能

範囲：
記事の種類によって、「特集号名」「頁分類」「分類+総題」「個別題」「細目」「執筆者(原本表記)」「執筆者(統一表記)」の7分類にて絞り込みが可能。

一括印刷
記事全文を PDF 形式にて表示。印刷も可能。

専用ビューフにて表示
前頁/次頁への移動、頁数を指定しての移動、目次にて記事を指定しての移動が可能。

発行年月日/巻号
発行年月日、巻号を指定しての検索も可能。
明治 28 年 1 月 1 日～明治 45 年 7 月 29 日のように、範囲を指定することもできる。

JKBooks シリーズ Web 版日本近代文学館「校友会雑誌」料金表

	新規購入価格	パッケージ版購入者 ご優待価格 ※1	年間システム利用料 ※2
第一高等学校 校友会雑誌	850,000 円	170,000 円	17,000 円

*表示価格に消費税は含まれていません。

※1 過去にパッケージ版 (DVD 版) をご購入の方が Web 版を購入される際の料金です。

※2 JKBooks をジャパンナレッジ Lib と切り離して単独で利用される場合の料金です。毎年課金されます。同時アクセス数は 4 です。

ジャパンナレッジ Lib とプラットフォームを統合して利用される場合は、年間システム利用料はかかりません。なお、同一プラットフォームで利用される場合の同時アクセス数はジャパンナレッジ Lib のご契約アクセス数が適用されます。

購入をご検討の際には、1 か月間の無料トライアルが可能です。

製作・発売 **八木書店**

総合営業部

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 3-8

TEL: 03-3291-2961 FAX: 03-3291-6300

E-mail: pub@books-yagi.co.jp

開発・運営 **NetAdvance**

小学館グループ 株式会社ネットアドバンス

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-30

TEL: 03-5213-0872 FAX: 03-5213-0876

E-mail: b2b@japanknowledge.com

販売総代理店 **紀伊國屋書店**

書籍・データベース営業部

〒153-8504 東京都目黒区下目黒 3-7-10

TEL: 03-6910-0518 FAX: 03-6420-1359

E-mail: online@kinokuniya.co.jp

滝田樗陰旧蔵 近代作家原稿集

<https://japanknowledge.com/library/>

『中央公論』伝説の名編集長が残した作家たちの原稿をデジタル化

『中央公論』の主幹であった滝田樗陰の遺族から、2010年に日本近代文学館に寄贈された原稿および滝田樗陰宛書簡などのうち、原稿1万枚余りを画像データベース化したものです。67名の作家の213作品と、初出誌『中央公論』の見開き誌面2,638カット(表紙・目次・奥付を含む)をすべてカラー画像で収録しています。また、『滝田樗陰旧蔵近代作家原稿集解説・解題』の別冊が付きます。

志賀直哉・谷崎潤一郎・里見弴・徳田秋声・室生犀星・野上弥生子・宇野千代などの作家のほか、徳富蘇峰など文化人・学者などの原稿を閲覧するだけでなく、実際の誌面と読み比べたりさらにそのままプリントアウトしたりして手にとって読むことができます。

主な収録作品

- 姉崎嘲風「人生の改造と弱者の力」「本能性の爆発とその整理」
- 阿部次郎「人格主義、戒律主義、主観主義」「私の郊外生活」
- 有島武郎「講演に対する私の希望」
- 稲垣足穂「友人の実見譚」「Taruho et la lune (タルホと月)」
- 宇野浩二「四人ぐらし」「ヘンリー・フォードのことその他」「四方山」
- 宇野千代「墓を発く」「追憶の父」「人間の意企」「薄墨色の憂愁」「赤ん坊」
- 大町桂月「日本国民の天職」「借金日記」「筆の山」「杉浦重剛先生」「馬鹿珍伝」
- 小川未明「虚を狙ふ」「死滅する村」「貸間を探がしたとき」「村の教師」
- 荻原井泉水「海を恋うて(俳句五十章)」「芭蕉翁遺蹟めぐり(校正刷)」
- 菊池寛「神の如く弱し」「蘭学事始」「流行児」「時勢は移る」「玄宗の心持」
- 木村荘八「字による写生(四篇)」「旅順行」「大連にて」「猫」
- 久米正雄「洋画を一瞥して」
- 堺利彦「此問題の社会的意義」
- 佐藤春夫「秋衣の歌」「侘しすぎる」「首くくりの部屋」「一夜の宿」「退屈問答」
- 里見弴「善心悪心」「雪の夜話」「縁談寝」
- 志賀直哉「雨蛙」
- 島木赤彦「生々諸相」
- 相馬御風「愚庵和尚の一生」「北国春信」「炉辺夜話」「人間の弱さと強さ」
- 滝田樗陰「[馬鹿珍伝] 編集附言」
- 谷崎潤一郎「異端者の悲しみー亡き母の霊にさゝぐー」
- 寺田寅彦「丸善と三越」「自画像」「小さな出来事(大正九年夏)」「厄年とetc.」「田園雑感」「写生紀行」「一つの思考実験」「雑記(切符の缺穴ほか)」
- 徳田秋声「勝敗」「復讐」「宇治の一日」「死の執着」「或女の死」「蘇生」「初冬の気分」「お品とお島の立場」「不安のなかに」「恥辱」
- 徳富蘇峰「東京たより 日米覚書評論」「還暦を迎ふる一新聞記者の回顧」
- 豊島与志雄「野ざらし」「真夜中から黎明まで」「影」
- 野上弥生子「生別」「邯鄲」「一つの家」「澄子」「キリストと祖父と母」
- 長谷川如是閑「闘争本能と国家の進化」「支那人の顔其他」「虎から豹へ」「馬」
- 日夏耿之介「山院秋晩図一心の郷土 第二篇一」「月光愁夜」
- 平塚らいてう「新婦人協会の請願運動に就いて与謝野晶子氏に御答へします」
- 正宗白鳥「最初の女」「女家主」「移転前」「人さまさま」「監禁」「青年の権利」「亡夫の情人」「生まざりしならば」「他人の災難」「影法師」
- 宮本百合子「火のついた踵」「顔」
- 武者小路実篤「秀吉と曾呂利」「楠正成(五幕悲劇)」
- 室生犀星「性に眼覚める頃」「或る少女の死まで」「美しき氷河」「古き毒草園」「香爐を盗む」「まむし」「植物物語」「夏、雑感」「お小姓児太郎 ほか二篇」「冬景叢画」「魚になつた興義」「童子」「馬守真」「嘆き」「しやりかうべ」「押し花」「忘春述懐」「川魚の記」
- 若山牧水「秋」

名作・問題作の
生まれる現場を
なまなましく再現!



滝田樗陰「[馬鹿珍伝] 編集附言」原稿



滝田樗陰
(たきたちよいん)

1882～1925年。ジャーナリスト。秋田市生まれ。本名、哲太郎。東大中退。1912年(大正元年)雑誌『中央公論』主幹となる。黒塗りの人力車で作家宅を駆け回り、家の前に樗陰の車が止まると一流作家の仲間入りが出来るとまでいわれた。原稿の善し悪しを見る目と原稿催促が厳しく、作家から恐れられていたという。作家以外にも吉野作造、堺利彦などの原稿を掲載し、『中央公論』発展の基礎を築いた。

【原誌刊行日】『中央公論』

大正4年(1915年)4月～

大正14年(1925年)10月

【頁数】全67名213作品の原稿(10,293カット)

初出誌面209作品(見開き2,638カット)

*4作品は雑誌未掲載

■編集委員

十川信介・中島国彦・紅野謙介

編集・刊行：日本近代文学館

製作・発売：八木書店

開発・運営：株式会社ネットアドバンス

滝田樗陰旧蔵 近代作家原稿集 の多彩な検索機能

基本検索 詳細 (個別) 検索 本棚

日本近代文学館

滝田樗陰旧蔵 近代作家原稿集

室生犀星 (むろう さいせい) 1889-1962

石川県金沢市生まれ、本名照道、雨室院住職室生真乗の養嗣子となる。高等小学校退学後、いくつかの職を経て上京、『愛の詩集』『抒情小曲集』(大正七)を刊行して詩壇の注目を浴びる一方、『幼年時代』(大正八)で文壇にも登場した。晩年まで詩作を続けるとともに、小説の代表作として『性に眼覚める頃』(大正九)、『あにいもうと』(昭和九)、『杏つ子』(昭和三〜三二)などを遺した。

資料一覧

- 性に眼覚める頃
 - 滝田樗陰旧蔵 近代作家原稿集 (所蔵番号71744) [一括印刷] [詳細情報]
 - 中央公論 第34年 第11号 (大正8年10月1日) [一括印刷] [詳細情報]
- 或る少女の死まで
 - 滝田樗陰旧蔵 近代作家原稿集 (所蔵番号71745) [一括印刷] [詳細情報]
 - 中央公論 第34年 第12号 (大正8年11月1日) [一括印刷] [詳細情報]
- 自叙伝奥書—その聯絡と梗概について—
 - 滝田樗陰旧蔵 近代作家原稿集 (所蔵番号71746) [一括印刷] [詳細情報]
 - 中央公論 第34年 第12号 (大正8年11月1日) [一括印刷] [詳細情報]

一括印刷
記事全文をPDF形式にて表示。印刷も可能。

原稿解題
各作品について、書誌も含めて原稿の内容を解説。

中央公論 誌面表示
当該作品を誌面で見ることができる。

作家一覧
全67名の作家一覧から、目的の作家を選択可能。

作品一覧
全213作品の一覧から、目的のものを選択可能。

専用ビューにて表示
前頁/次頁への移動、頁数を指定しての移動が可能。

JKBooks シリーズ Web 版日本近代文学館
「滝田樗陰旧蔵 近代作家原稿集」料金表

	新規購入価格	パッケージ版購入者 ご優待価格 ※1	年間システム利用料 ※2
滝田樗陰旧蔵 近代作家原稿集	450,000 円	90,000 円	9,000 円

*表示価格に消費税は含まれていません。

※1 過去にパッケージ版 (DVD 版) をご購入の方が Web 版を購入される際の料金です。

※2 JKBooks をジャパンナレッジ Lib と切り離して単独で利用される場合の料金です。毎年課金されます。同時アクセス数は 4 です。

ジャパンナレッジ Lib とプラットフォームを統合して利用される場合は、年間システム利用料はかかりません。なお、同一プラットフォームで利用される場合の同時アクセス数はジャパンナレッジ Lib のご契約アクセス数が適用されます。

購入をご検討の際には、1 か月間の無料トライアルが可能です。

製作・発売 **八木書店**

総合営業部
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 3-8
TEL: 03-3291-2961 FAX: 03-3291-6300
E-mail: pub@books-yagi.co.jp

開発・運営 **NetAdvance**

小学館グループ 株式会社ネットアドバンス
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-30
TEL: 03-5213-0872 FAX: 03-5213-0876
E-mail: b2b@japanknowledge.com

販売総代理店 **紀伊國屋書店**

書籍・データベース営業部
〒153-8504 東京都目黒区下目黒 3-7-10
TEL: 03-6910-0518 FAX: 03-6420-1359
E-mail: online@kinokuniya.co.jp

Web版

美術新報

総合美術雑誌 明治35年～大正9年

- ◆明治・大正期の近代画家・文人や展覧会等の動向を探る貴重・詳細な記録・彙報欄記事（1万1千余件）をデータベース化
- ◆検索データ全2万3千余件を収録し、縦横無尽の検索が可能
- ◆西洋近代美術の移植・伝統的日本美術の再認識を主導した貴重資料全300冊の完全データベース化！

美術新報



明治三十五年三月二十七日発行
 第拾壹卷初號並に展覧會特別號
 本誌特價金五拾錢（郵稅貳錢）

日本近代美術史の証言
 本格的美術評論誌の嚆矢が
 オンライン版で登場！

美術新報

第拾壹卷

號壹第 號四拾五訂正第巻通 卷五拾第



検索目録：中島理壽 編・村田真知 協力
 全300冊：総7,348画像 画報社・東西美術社発行
 （カラー画像21点収録）

八木書店

Web版**美術新報**購入の御案内

<http://japanknowledge.com/library/>
【2015年6月配信開始】



コンテンツ料金 (初回契約時のみ)

(本コンテンツの価格はすべて税別)

【新規ご契約】 美術新報 (全300冊) ……350,000円

【DVD版購入者優待価格 (60%OFF)】 美術新報 (全300冊) ……140,000円

※本サービスは、JKBooks としてお申し込みが必要となります (ジャパンナレッジ Lib には含まれておりません)。

※ご購入時に、プラットフォームを①Web版美術新報の単独利用か、②ジャパンナレッジ Lib との統合、のいずれかをご選択ください。

①Web版美術新報の単独利用の場合

年間システム利用料 7,000円頂戴致します。同時アクセス数は4です。

②ジャパンナレッジ Lib との統合の場合

年間システム利用料はかかりません。同時アクセス数はジャパンナレッジ Lib に準じます。

※ジャパンナレッジ Lib の会員でないお客様は、登録および初期設定費用として、入会費 15,000円、(初回契約時のみ) と、年間システム利用料を頂戴いたします。詳細はお問い合わせください。

※ご購入時に、書籍版全ページの画像データを DVD メディアでお納めします。

※動作環境については、ジャパンナレッジ Lib ウェブサイトにてご確認ください。

無料トライアルのご案内

まずはトライアル版をお申し込みください。1ヶ月間無料でご利用いただけます。

申込書は以下のサイトからダウンロードいただけます。

●八木書店ホームページ <http://www.books-yagi.co.jp/pub/>

●ジャパンナレッジ Lib ホームページ <http://japanknowledge.com/library/>

【八木書店古書部店舗で、実際に試用できます。ご来店をおまちしております】

Web版日本近代文学館のご案内

- ・Web版日本近代文学館には、『太陽』『文芸倶楽部 明治篇』『校友会雑誌』『滝田樗陰旧蔵 近代作家原稿集』の4つのコンテンツが搭載されています。
- ・明治から昭和までに刊行された近代文学雑誌と同時代の『美術新報』を同時に検索することで、相互に補完した新たなデータのつながりが期待できます (ジャパンナレッジ Lib と統合して利用する場合に限る)。
- ・価格、収録書目など詳細は八木書店ウェブサイト (<http://www.books-yagi.co.jp/pub/>) をご覧ください。

編集・刊行
配信・運営

八木書店
NetAdvance
小学館グループ
株式会社ネットアドバンス

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 3-8
Tel:03-3291-2961 / Fax:03-3291-6300 pub@books-yagi.co.jp <http://www.books-yagi.co.jp/pub/>

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-30 昭和ビル 3F
Tel:03-5213-0872 / Fax:03-5213-0876 b2b@japanknowledge.com

